

市政レポート

2025年7月9日



ご挨拶

この春の出雲市議会議員選挙において、市民の皆様からの付託を得て、初当選いたしました三加茂圭祐です。格別のご支援とご協力を賜っておりますこと、心から感謝申し上げます。初当選から早3ヶ月が経ち、日々の議会活動を通して、皆様の一票一票に込められた期待と、責任の重さに身が引き締まる日々を過ごしております。この重責を胸に刻み、皆様のご期待に応えるため、誠心誠意、職務に励んでまいります。この度、6月議会の内容を中心に市政レポートを作成いたしました。ご一読いただき、市政をより身近に感じていただくための一助としていただければ幸いです。今後も、より良い出雲市の未来をつくるため、全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

所属委員会のご紹介

次の委員会に配属になりました。所属委員会と主なテーマは次のとおりです。出雲市役所と経産省での行政経験を活かして、出雲の活性化に向けた提言を積極的に行なってまいります。

環境経済委員会：産業、観光、環境、上下水道に関すること
総合交通対策特別委員会：公共交通サービスに関すること
議会広報誌編集委員会：議会広報誌の発刊と編集

市政レポート 目次

ご挨拶
所属委員会のご紹介

6月議会
一般質問のご報告

イベント開催報告
6月補正予算のポイント



#三加茂けいすけ
#出雲を次世代につなぐ。
#出雲市議会議員
#38歳2児のパパ
#早稲田大学大学院修了

令和7年6月議会一般質問のご報告

当選後初めての定例会となる6月議会で、一般質問を行いました。市議会議員選挙で最重点政策として掲げた、地域産業政策について、①産業振興戦略について伺い、そのうえで個別の3つの重要な論点（②地元企業振興、③企業誘致、④人材）について質問しました。以下、質疑の要旨です。



昨今の国内外の情勢を踏まえると、社会・経済課題の解決に向けて、官も民も一歩前に出て、あらゆる政策を総動員して産業政策に取り組む必要性が強まっていますが、出雲市の産業政策の戦略をどのように考えておられるか、伺います。

出雲市では、「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」に基づき地元企業振興に取り組んでいますが、計画の進捗状況等をどのように評価していますか。また、市の産業支援機関であるNPO法人ミライビジネスいずもの位置付けと商工団体をはじめとした他の支援機関との連携はどのようになっていますか。

地元企業で人手不足が深刻化するなかで、労働集約的な企業の誘致は、更なる人材獲得競争の激化をもたらす懸念がありますが、市の企業誘致の方針とターゲットとする企業像をどのようにお考えですか。また、市が推進する「Tech Hub Izumo構想」の政策目的と他業種の地元企業との連携方法について、お答えください。

人手不足が深刻化するなか、兼業・副業人材の活用に注目が集まっていますが、民間企業における兼業・副業人材をどのように推進していくお考えですか。

また、生成AIをはじめとした新たなスキルの習得が、企業規模・産業分野を問わず求められるなか、リスクリング（働きながら新たな知識・スキルを獲得すること）を推進することは、地域の人材力の底上げにつながると考えますが、今後の対応方針についてどのように考えておられるか、伺います。

キーワード解説

NPO法人ミライビジネスいずも

出雲市内企業のビジネス拡大、持続的発展を支援する団体です。新たなビジネスチャンスの提供と人材育成に関する事業を実施しています。

所在地：島根県出雲市斐川町神氷2535-10
（斐川西工業団地内）

テックハブイズモ

Tech Hub Izumo構想

出雲市がITなどのテクノロジーを持つ人材や、企業が行き来する結節点（ハブ）となって、人が企業を呼び、企業が人を呼び込む好循環を生み出し、ビジネス活動の活発化を図る他地域にないデジタル先進エリアを目指す構想です。

飯塚市長答弁(一部抜粋)

本市は、総合振興計画「出雲新話2030」において、新規雇用創出2000人を目標とし、企業誘致と地場企業支援を中心に取り組んでいます。

出雲市中小企業・小規模企業振興計画は、現在2期計画に取り組んでおり、学生等の地元就職の取り組みを一層強化する必要性を感じています。

NPO法人ミライビジネスいずもは、市内企業の身近で総合的な支援窓口としての役割を担っており、本市の産業振興の中核を担う団体として、関連諸団体との連携体制の維持・強化に努めてまいります。

本市の企業誘致の方針として、経済情勢に左右されにくい強固な産業基盤を確立するため、多種多様な企業の立地と雇用の場の創出を目指し、特に製造業とIT企業等のソフト産業の誘致を進めています。

Tech Hub Izumo構想では、他の業種との交流やビジネスマッチングにより、あらゆる企業のデジタルトランスフォーメーション推進を重要な取り組みとして位置づけています。本年3月に行われた、ものづくり企業・IT企業交流会では、デジタル化の推進や新たなビジネス創出等について活発な情報交換が行われました。

本市では、兼業・副業を推進するにあたり、島根県などが実施するプログラムの周知に努め、関係機関と連携しながら、企業が求める人材とのマッチング支援に取り組んでいきます。

本年11月に、出雲科学館内に仮称「出雲デジタルスタジオ」のオープンを予定しています。ここでは、市内IT企業の協力を得て、幅広い世代にデジタル技術を学ぶことができる環境の提供とリスキングの機会の提供を目指しています。

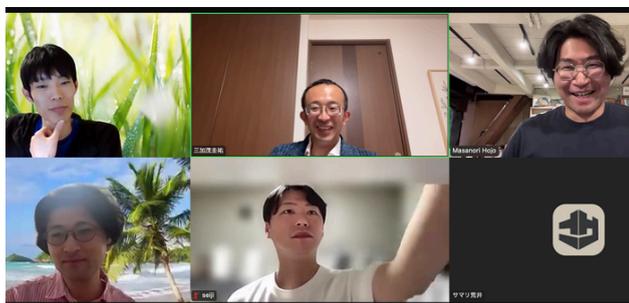


一般質問を振り返って



私は、人口減少社会を迎える出雲市では、企業誘致から地元企業振興に軸足を移し、地域経済の内発的発展を目指す産業政策を行う必要があると考えています。また、企業誘致は、産業の高度化につながる研究開発機関を有する企業をターゲットにすべきと考えているため、執行部の答弁内容と考え方が異なりますが、リスキングは、その重要性について認識が一致しました。今回は答弁の一部内容を抜粋し、整理して報告しました。一般質問の全体内容については、youtubeに動画がアップされていますので、右上のQRコードからご覧いただければ幸いです。(2日目の一番手で質問をしています。)

慶應義塾大学文明塾同期とオンラインイベントを開催



5月7日に選挙をお手伝いしていただいた東京都世田谷区議の菌部さん、千葉県匝瑳市地域おこし協力隊の北條さんとオンラインイベントを行いました。

出雲市を訪れたおふたりの経験も踏まえて、「出雲市の今とこれから」についてディスカッションを行い、外から見た出雲を考える貴重な機会となりました。

令和7年度6月補正予算のポイント

6月議会の閉会に伴い、補正予算（一般会計 約8億5千万円）が可決されました。今回の補正予算は、出雲市の総合振興計画「出雲新話2030」の将来像実現に向け、人口減少対策や中山間地域振興など、飯塚市政の2期目のカラーが色濃く出ている予算になっています。補正予算のなかでも、私が注目する2事業をご紹介します。

いずも縁結びPAY運用事業

出雲市デジタル地域通貨「出雲縁結びPAY」でプレミアム付きデジタル商品券（プレミアム率30%）を発行する事業。

- 〔額面等〕 1,300円（上限13,000円/人）
- 〔販売単価〕 1,000円（上限10,000円/人）
- 〔申し込み〕 7月28日から（一次抽選）

本事業の詳細は右のQRコードからご確認ください。



軽度・中等度難聴者補聴器購入助成事業

身体障がい者手帳の交付対象外の難聴者を対象とした補聴器購入を助成する事業。

- 〔助成対象〕 住民税非課税世帯、又は生活保護世帯の18歳以上の者
- 〔対象経費〕 補聴器本体とその付属品
- 〔助成額〕 25,000円/件
- 〔留意事項〕 聴力レベルの要件があるため、詳細は福祉推進課または高齢者福祉課にご確認ください。

編集後記

当選後の初の定例会となる6月議会が無事に終わり、ホッとしています。

選挙の時は、38歳1児のパパでしたが、4月に2人目の子供が生まれ、2児のパパとなりました。政治家としての使命感と、生活者としての目線を大切に、精一杯活動をしていきますので、今後ともよろしくお祈りします（圭祐）

LINEでミニ集会等のイベントのご案内や市政レポートの配布を予定しています。ぜひ下記のQRコードからご登録ください。

【発行者】 三加茂けいすけ後援会事務所
699-0611 島根県出雲市斐川町阿宮408-5
公式サイト <https://mikamo-keisuke.jp>
電話 080-6194-2899
メール contact@mikamo-keisuke.jp

